

表面

運 転 日 報

太枠内は法定記載事項であり、必ず記載すること。

ただし、大型車以外は、@記号の欄のみ記載すればよい。

(大型車とは、車両総重量8トン以上又は最大積載量5トン以上の車両をいう。)

(タコグラフ併用様式) [タコグラフ用紙には、①運転者氏名 ②乗務開始・終了日時、場所 ③休憩、睡眠の日時、場所 ④走行距離 を記載のこと]

社長	統括運行管理者	運行管理者	補助者
印	印	印	印

令和 年 月 日 ()	運転者氏名@	車両番号@	最大積載量	kg
		名古屋110あ1234	10000	

項目説明

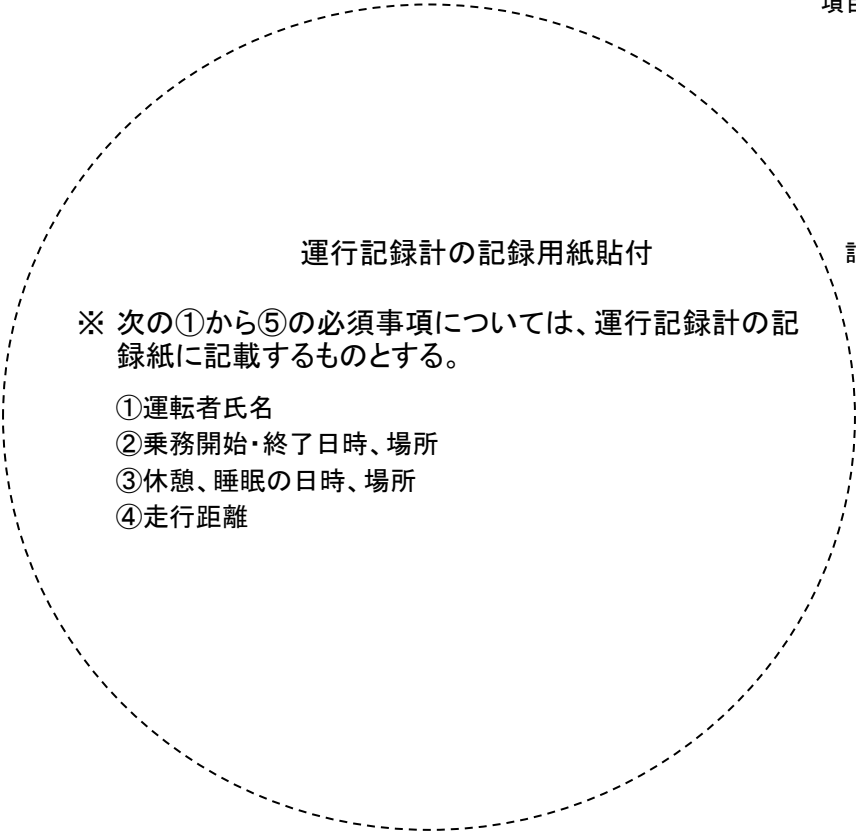
地 点 経 過 等 地 点 管 理 番 号	A. 経過地点、集貨地点、 地域名、荷主名等@	B. 輸送品名	C. 積載数量 (トン、個、PL、Bx、 $\frac{1}{2}$ 、m)	D. 積 付 け 状 況	E. 荷積・ 荷卸 の別	F. 運転者の 荷役作業 の有無
	G. ◆到着指定日時	H. ◆到着日時	I. 到着時点の走行キロ	J. ◆出発日時		

◆欄については、到着日時が指定されていない時、記載を省略して良い。

記載欄

1.	A. 場所 〇〇工場	B. 品名 xxxx	C. 数量 9トン	D. 積付 ☒	E. 積・卸 ☒	F. 有・無 ☒
	G. 指定 10 : 30	H. 実着 10 : 00	I. km	J. 発 11 : 35		
2.	A. 場所 ●●センター	B. 品名	C. 数量 空車	D. 積付 ☐	E. 積・卸 ☒	F. 有・無 ☒
	G. 指定 21 : 00	H. 実着 20 : 30	I. km	J. 発 21 : 25		
3.	A. 場所	B. 品名	C. 数量	D. 積付 ☐	E. 積・卸	F. 有・無
	G. 指定 :	H. 実着 :	I. km	J. 発 :		
4.	A. 場所	B. 品名	C. 数量	D. 積付 ☐	E. 積・卸	F. 有・無
	G. 指定 :	H. 実着 :	I. km	J. 発 :		

(注) 到着時間指定があり待機が発生した場合、または、運転者が荷役作業等を行った場合には、裏面も記載のこと。



日 時@	場 所@	遅延等異常状態 の 発生概要と原因@	燃料給油 量 (リットル)
運転の 交代@	:		
運行指示 内容@			

1年保存

裏面

(注意) ☆欄は、荷主の都合や指示で到着指定時刻以降に合計で30分以上の待機が発生した場合に記録する。★欄は、運転者が荷役作業等を行った場合に記録する。ただし、★欄については、契約書、送り状等に荷役作業内容が全て明記されている場合で、当該作業時間が1時間未満であれば記載しなくてもよい。

[illegible]

日常点検

		点 検 箇 所	点 検 項 目	結果			点 検 箇 所	点 検 項 目	結果	運行中の異常箇所 (前日または前回)				
毎日実施する点検	① 運転席で	ブレーキペダル	踏みしろ・きき具合	✓	に 状 自 行 態 動 う か 車 点 ら の 検 判 走 断 行 し た 距 適 離 切 や 運 適 行 切 時 運 期 行 の 時 期 期	① 運転席で	エンジン	かかり具合・異音		異常箇所 の措置				
		駐車ブレーキレバー	引きしろ(踏みしろ)	✓				低速・加速の状態						
		◎空気圧力計	空気圧力の上がり具合	✓				ウインドウウォッシャ	液量と噴射状態					
		◎ブレーキバルブ	バルブの排気音	✓				ワイパー	拭き取りの状態					
		② 車の周りで	灯火装置・方向指示器	点灯・点滅具合・汚れ・損傷、レンズ・反射器の変色		✓	② 車の周りで	バッテリー	液量		整備管理者による運行の 可否決定(押印)			
	ブレーキオイルリザーバタンク		液量・漏れ	✓		タイヤ		溝の深さ						
	タイヤ		空気圧	✓		ラジエター		水量						
			亀裂・損傷	✓		ファンベルト		張り具合・損傷						
			異常な摩耗	✓		潤滑装置		エンジンオイルの量						
			※取付け状態	✓		◎ブレーキチャンバ		ロッドのストローク						
			◎エアタンク	タンク内の凝水		✓		◎ドラムとライニング	隙間					
	◎ 印の点検箇所は、エアブレーキが装着されている場合に点検する													

◎ 印の点検箇所は、エアブレーキが装着されている場合に点検する

※ 印は、法令では車両総重量が8トン以上が対象